

りつめい

題字・末川 博名誉総長

R Alumni

立命館大学校友会

立命館大学校友会報

NO.
234

2008
OCTOBER



オール立命館 校友大会 2008 で



会いましょう!



03 特集

オール立命館校友大会 2008で会いましょう!

その1:対談「大会テーマは繫」

西村義行校友大会担当副会長
大西克樹校友大会実行委員長

その2:大会プログラム紹介

その3:校友大会History

01 輝くひと

校友大会実行委員会の皆さん

12 RITSUMEI INTERVIEW

1400年の時を越えた
飛鳥大仏とともに

飛鳥寺住職
山本宝純さん



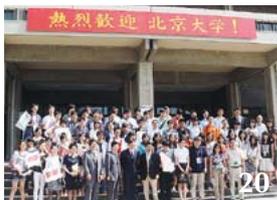
12

16 恩師の窓

唐沢 敬先生・浪江 巖先生
森田浩平先生・利根川孝一先生

18 校友会ネットワーク

20 キャンパストピックス



20

22 学生のスポーツ&イベント

24 INFORMATION



22

表紙の人



校友大会実行委員会の皆さん

“みんなの理想の校友大会像”を 集約し具体化する、大会実行委員会

7月下旬、暑い盛りのとある夜。忙しい昼間の営みを終えた校友が、かたや定期試験のひと日を終えた現役学生が、もうひと頑張りとして朱雀キャンパスの会議室に集まって、話の花を咲かせている。

校友大会は校友会の年間最大のイベント。1700名もの校友が集い、京都駅ビル一帯を“立命館色”に染め上げる。その大会を文字通り校友の手で創りあげようと、5年前に発足したのが「校友大会実行委員会」である。

この委員会自体の規模も年々大きくなってきており、今年のメンバー（校友）はざっと50名。西村義行校友大会担当副会長、大西克樹大会実行委員長という、ベテラン校友・若手校友をそれぞれ代表するお二人を中心に、校友会の組織固めの舵取りをする総務委員、各校友団体で活躍し校友会の次代を担うと期待される若手の有志、協力企業や学内の協力部課の担当者といった人々が座を固めている。そして今年はやはり現役学生たちの存在感が大きい。学友会の「学園祭事務局」や「イベント事業部」で活動している学生、そして経営学部でブランディングや空間プロデュースを学んでいる学生、こちらも総勢50名ほどが、学生実行委員として校友大会のために知恵と力を出してくれている。

それぞれの理想の校友大会のイメージを忌憚なく語り合い、ひとつの形にまとめていくのが大会実行委員会の役割。その結果、今年の大会がどんな姿になるのかは、特集ページをとくにご覧下さい。

というわけで、大会実行委員会の皆さんに写真におさまってもらったが、意外に照れ屋さんが多く、学生だけがポーズをとってくれた。大人の方々は「持てるパフォーマンス力の発揮は大会当日に」と爪を隠しておいでなのだろう。ぜひ、お楽しみに。

(写真撮影:木村充宏、小幡豊、大日本印刷(株)/文:寺田直子)

社会・未来・夢・世代・歴史・誇り・心を繋ぐ

繋ぎ
つなぐ

11月1日(土) 12:00~19:30

場所

ホテルグランヴィア京都
京都駅ビル
立命館小学校

11月2日(日) 9:00~17:00

オプション企画

立命館ゆかりの地と源氏物語千年紀探訪

R Alumni
RITSUMEIKAN

オール立命館 校友大会 2008 で 会いましょう!

母校とともに、年ごとに進化を続ける、
オール立命館校友大会。
はじめての方ももちろんのこと、毎年ご参加の皆さまも、
校友大会の成長ぶりと、立命館の現在を
ぜひ体感してみてください。
校友と在学生の未来に繋がる多彩なイベントを揃えて
お待ちしております。

「母校とともにある 校友会」を 体現する校友大会

西村 今年も「オール立命館校友大会」の準備が佳境に入ってきましたね。私は長らく大会の運営に係わってまいりましたが、今年のように本格的・組織的に、若い皆さんが頑張ってくださいている姿を見るのは嬉しいものです。皆さん、頼もしいですね。

大西 ありがとうございます。これまで先輩方が脈々と築いてこられた校友大会の歴史を踏まえ、ご意見をうかがった上で、そこに若い世代の仲間とともに新鮮な風を吹き込みたいと思っています。現役学生の皆さんも頑張ってくださいますから。

西村 思えば昔は、現在のようなこんな大規模な校友会、そして校友大会になるとは夢にも思わず、校友会活動の独自性を追求していた時代も無きにして非ずでした。しかし、母校立命館学園の発展のために学園と協調した校友会活動をしようという方向へ、長い年月をかけて、皆で少しずつ変えてまいりました。中高年世代の男性校友だけではなく、若い皆さんや女性の方、学生さん、教職員の方も、みんなで力を出し合って一緒にやろうと。それが徐々に浸透して、ここ数年でかなり形になっ



西村副会長

てきたのではないのでしょうか。校友大会のスタイルも、それを体現していますね。

大西 そうです。私は大会実行委員になつて四年目ですが、毎年一步一歩、その方向へ前進してこれれたと思っています。今年は委員長を拝命しましたので、先輩方との世代間融和の象徴としていつそう努力したいと思います。

今年度大会のポイント

西村 さて、昨年はRITSUMEIX'07として東京にて開催しましたが、今年度は京都市ビル一帯に会場を戻します。けれども従来にはなかったエッセンス

も加えて、今年ならではのものを、そして来年以降の大会にも繋げられるような成果を生み出したいですね。

大西 そう思っています。今年、大会のメインテーマを設定しました。まさに、いま副会長がおっしゃった「繋」がそれです。縦横無尽に広がる校友同士のネットワーク、そして母校・学生とのネットワークをもっと広く深く強固なものにしたいという思いを込めています。

西村 他にも新しい取り組みがありますね。

大西 はい。今年度は大会の核となる総会・レセプションパーティーの翌日にオフショ[※]ンのツアー企画を用意して、初の

私たちも
頑張っています

校友会総務委員会

校友会の全体方針に関する事務を協議する総務委員会のメンバーすべてが、ここ数年来校友会実行委員会に参加して、大会を成功させようと努力しています。

立命館大学校友だけでなく、立命館アジア太平洋大学や附属の各学校も一緒に、「オール立命館校友大会」と銘打って取り組んできました。今年は比較的早くから「学生実行委員会」他いろいろな立場の人が準備に加わり、幅広い校友が楽しく集える催しにしようとして頑張っています。縦・横・斜めの「繋がり」が一層強固な校友会になることでしょう。
(委員長・中村義孝)

校友大会学生実行委員会

今回、学生実行委員会が本格的に設置され、校友大会というたいへん大きな催しに現役学生の立場から関わらせていただくことになり、非常に光栄であり嬉しく思います。

偉大な校友会の先輩方と共にやらせていただくことは、非常に恐縮であり緊張も致しますが、それ以上に共に校友大会を作り上げていくメンバーの一員になれたことに喜びを感じています。やらせていただくからには、自分たちの若さを最大限に発揮し、全力を尽くし校友大会を盛り上げていきたいと思っています。

(学園祭事務局・小濱健太郎(文2))

大会テーマは「繋

校友同士、校友と母校・学生との繋がりが広く深く、強固なものになるように

対談
西村義行 校友大会担当副会長（60 経済）
大西克樹 校友大会実行委員長（03 経済）

二日間開催とします。もちろん初日も、これまで何度も参加してくださっている方、初めての方…、経験や年代が様々な皆さんそれぞれにご満足いただけるような、多彩な企画を用意していますよ。

それから、校友会から在学生へ贈る企画もあります。大学のキャリアアセンターにご協力いただき、キャリア・アドバイザー（CA）の皆さんと連携して行うキャリアデザイン講演です。校友の私たちが自分たちだけで楽しむのではなく、大会の後輩の役に立つことをしよう。明日の校友*である在学生に、校友会のことや校友会活動の意義をもっと知ってもらおうというわけです。

西村 かつて、校友会が同様の趣旨の企画を学園祭たけなわのキャンパス内で行ったことがあります。校友大会の場ではないのは、なかったですね。

在学生と言えば、ここ数年は大会当日の学園祭プレスステージやレセプションパーティーに出演していただいていたが、今年は正式に校友大会実行委員会のメンバーに加わってくれていますね。

大西 そうなんです。校友大会学生実行委員会が組織され、私たちと一緒に頑張っています。JR 京都駅前二つの

広場で行うコンサートやパフォーマンスは、学生実行委員会にプロデュースしてもらいます。また、新リッツマーク「+R」レーベルのグッズデザインに参画して大会を盛り上げてくれる学生メンバーもいます。とにかく今年は、これまで以上に若い力を盛り込めるように力を尽くしています。

「繋」を「絆」へ

西村 私たちの世代は、昔のことを、古き良き時代の思い出*として記憶しています。それはそれで大切にしながら、若い皆さん、そして母校とともに、

新しい時代に向かってさらなる一歩を踏み出そうと、まさに今はそういう時だと思えます。立命館に縁のある人は誰でも仲間です。お互い広い気持ちで、一緒に歩んでいきましょう。

大西 若い私たちも、温故知新の精神を忘れずにまいります。そして、大会で得られる「繋」を、「絆」へと育てていきたい。校友の皆様にもその喜びを味わっていただきたいと願っています。十一月一日・二日、ぜひお会いしましょう！

〔注〕

*1 一日目・二日目の企画それぞれにお申し込みが必要です。

*2 在学生の就職支援に携わる若手校友



大西実行委員長



今年も楽しく有意義な大会になるように準備中です



ミーティング風景あれこれ

室町小路広場 (大階段前)

駅前広場 (ホテルグランヴィア 京都正面玄関前)

立命館小学校

11:00

Ritsアートフォーラムは、
芸術家の校友が集う
校友会組織です。

12:00

どなたでも

オープニング 伍芳コンサート

どなたでも

オープニング Ritsアートフォーラムコンサート 出演:「衣笠村英雄楽士団」代表 木場大輔 (胡弓)



13:00

どなたでも

PR★パフォーマンス RITSUMEI in MUROMACHI ～CHARITY&PASSION～

どなたでも

PR★パフォーマンス RITSUMEI in EKIMAE ～体験型コラボレーションステージ～

出演学生団体 (予定・順不同)

▶ 第1部:チャリティーステージ
書道部
dig up treasure (ダブルダッチサークル)
舞style (ストリートダンスサークル)

出演学生団体 (予定・順不同)

交響楽団 (アンサンブル)
けん玉研究会
RDC (ダンスサークル)
Song-genics (アカベラサークル)
dig up treasure (ダブルダッチサークル)

▶ 第2部:パッションステージ

軽音楽部
出前ちんどん
JAZZ club

校友限定オプション企画

立命館小学校見学会

～立命館小学校 メソッドに触れる～

※レセプションパーティー参加者に限ります
※定員 先着200名
※要事前申込・有料

※現地集合 (地下鉄北大路駅下車徒歩3分)

14:00

15:00



ファン 伍芳さん ('96産社)

中国古箏奏者。1990年、難関の上海音楽学校を首席で卒業、来日。本学卒業の96年、デビューアルバム「箏心」発表。2006年には9枚目のアルバム「Jasmine Flower ～中国歌物語～」を発売。様々なジャンルの音楽に挑戦、作曲活動にも力を注ぎ、独自の音楽世界を展開して聴衆を魅了しつづけている。



立命館小学校見学会ミニ講義担当

陰山英男 副校長 プロフィール

兵庫県朝来町立(現・朝来市立)山口小学校教師時代から、反復練習で基礎学力の向上を目指す「陰山メソッド」を確立、脚光を浴びる。

2003年尾道市立土堂小学校校長に全国公募で就任。「陰山メソッド」による指導に加え、そろばんやコンピュータなども活用し、子供たちの学力向上を実現している。

現在、立命館大学教育開発推進機構教授(立命館小学校副校長兼任)。

文部科学省・中央教育審議会教育課程部会委員。



17:00

18:00

19:00

有料・要事前申込

レセプションパーティー参加者のみ対象

レセプションパーティー参加者のみ対象・要別料金・要事前申込(定員200名)

※いずれの企画も時間は予定です。変更になる場合がありますのでご了承ください。

R オール立命館 校友大会 2008

～社会・未来・夢・世代・歴史・誇り・心を繋ぐ～

11月1日(土)

イベント会場別 タイムスケジュール

※各イベントの内容は8ページをご覧ください

チケットバス料金ならびに申し込み方法

- 平成6年以前卒業の校友
..... 8,000円
- 平成7年以降卒業の校友・
女性校友(卒年問わず)・同伴家族(中学生以上)
..... 4,000円
- 立命館小学校見学会(定員200名)
..... 1,000円
(中学生以上・現地にてお支払い)

小学校見学会のみの申し込みはできません。レセプションパーティーのチケットバスと併せてお申し込みください。

インターネット申し込み

10月15日締切

立命館大学校友会ホームページ

<http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/al/>

画面右上の「オール立命館校友大会2008」ボタンからお入りいただき、申し込みページを開いて、必要事項をご送信ください。

電話申し込み・問い合わせ

10月15日締切

立命館大学校友会事務局

(月～金：9:00～17:30)

Tel.075-813-8216

※インターネットもしくは電話にてお申し込みを受け付けましたら、料金振込先をお知らせします。入金確認の後に、チケットバスを郵送いたします。

ホテルグランヴィア 京都 & 駅ビル

11:00

校友・在校生対象

キャリアデザイン講演
～未来のヒントが見えるかも～
[3F 源氏の間]

13:00

14:00

校友・在校生対象

CA懇談会前夜祭
「つながリッツ」
～つながりを作ってキャリアを見直そう～
※レセプションパーティー参加者に限ります
[5F 古今の間]

16:00



17:00

校友・在校生対象

立命館大学校友会総会

18:00

レセプションパーティー(立食形式)
・伍芳コンサート
[3F 源氏の間]
[5F 古今の間]

19:00



校友・在校生対象

源氏物語千年記念アートギャラリー & Ritsua Artフォーラムによる芸術作品展示

[5F]

どなたでも

立命館大学グッズ販売 & 立命館グッズを手に入れよう！

[3F ホワイエ]

どなたでも

Rのある空間 & 立命館を感じてください！

[京都駅ビル インフォメーション前広場]

校友・在校生対象企画 **立命館の世代を繋ぐ**

立命館大学校友会総会&レセプションパーティー

◎総会 / 17:30~18:00 ◎レセプションパーティー(立食) / 18:00~19:30 **参加有料・要事前申込み**

全国の校友が一堂に会する立命館大学校友会総会を盛大に開催します!
総会の後は2つの会場に分かれて開かれる立食形式のレセプションパーティーで旧交を深め、
世代を超えた新たな繋がりを築きましょう。

◆場所 / ホテルグランヴィア京都【第1会場】3F 源氏の間 【第2会場】5F 古今の間

チケットバス費用
平成6年以前卒業 8,000円
平成7年以降卒業、女性校友、同伴家族... 4,000円

どなたでも参加 **立命館と社会を繋ぐ**

オール立命館校友大会2008 オープニングコンサート ~校友の音楽で幕開け~

◎伍芳コンサート
12:00~12:30
◆場所 / 京都駅ビル 室町小路広場

◎Rits アートフォーラムコンサート
12:00~13:00
◆場所 / 京都駅ビル 駅前広場
◆出演 / 「衣笠村英雄楽士団」代表 木場大輔(胡弓)

PR★パフォーマンス RITSUMEI in MUROMACHI ~CHARITY&PASSION~

12:30~16:00
「ミャンマー・サイクロン/中国・大地震災害支援」のチャ
リティステージを展開するほか、「オール立命館パワー」
が感じられるパフォーマンスを繰り広げます。
◆場所 / 京都駅ビル 室町小路広場

PR★パフォーマンス RITSUMEI in EKIMAE ~体験型コラボレーションステージ~

13:00~17:00
「観る」だけでも面白い、「体験」しても面白い新たな参加型
の誰もが楽しめるステージを展開するほか、「オール立命館の
エネルギー」が感じられるパフォーマンスを繰り広げます。
◆場所 / 京都駅ビル 駅前広場

校友・在校生対象企画 **立命館と未来を繋ぐ**

キャリアデザイン講演 ~未来のヒントが見えるかも!?~

12:00~13:30
「働くこと」について、自分のモチベーションを見直し、
明日からまた新しい一歩を踏み出す勇気を持つことができ
るキャリアデザイン講演を行います。
◆場所 / ホテルグランヴィア京都3F 源氏の間

CA懇談会前夜祭「つながリッツ」 ~つながりを作ってキャリアを見直そう~

14:00~16:00
在校生と若手校友の世代を超えた「つながり」を作るイ
ベント。新しい「つながり」を作りながら現在、過去、未
来のキャリアを見つめ直すきっかけを語り合ってみませ
んか? 在校生は今後の人生の歩み方を、若手校友は
幅を広げる新たな出会いを。あなたの知らない世界に
出会えるかも。
◆場所 / ホテルグランヴィア京都5F 古今の間
*この企画はレセプションパーティーの参加が必要となります。

どなたでも参加 **立命館の誇りを繋ぐ**

Rのある空間 ~立命館を感じてください~

11:00~19:30
立命館の「洗練感」と「面白さ」をアピールする空間を
展開します。多くの人が行き交う京都駅ビル・インフォ
メーション前広場を立命館カラーに染め上げます。
◆場所 / 京都駅ビル インフォメーション前広場

立命館大学グッズ販売 ~立命館グッズを手に入れよう!~

11:00~19:30
立命館のコミュニケーションマークがデザインされたグ
ッズを販売します。お揃いのグッズを手にして立命館の誇
りを感じましょう。
◆場所 / ホテルグランヴィア京都 3Fホワイエ

校友限定オプション企画 **立命館で夢を繋ぐ**

立命館小学校見学会 ~立命館小学校メソッドに触れる~

13:30~15:40
参加有料・要事前申込み
最先端の教育設備を誇る立命館小学校の施設見学の
ほか、陰山英男副校長のミニ講義も行われます。
◆場所 / 立命館小学校(現地集合)
地下鉄烏丸線北大路駅下車 徒歩3分
【タイムスケジュール】
13:00~ 受付開始
13:30~ ◎校長ごあいさつ
◎立命館における一貫教育システムに
ついてのプレゼンテーション
◎ミニ講義(陰山英男副校長)
◎施設見学
15:40 終了
各自、ホテルグランヴィア京都へ移動

定員
200名
先着順

校友・在校生対象企画 **立命館の心を繋ぐ**

源氏物語千年紀記念アートギャラリー ~Ritsアートフォーラムによる芸術作品展示~

11:00~19:30
◆場所 / ホテルグランヴィア京都5F



11月2日(日) 11月1日(土)
【宿泊】

校友限定有料オプション企画

立命館と歴史を繋ぐ

「立命館ゆかりの地と源氏物語千年紀探訪」

募集定員
各コース
40名

4コースのツアー(旧広小路キャンパスなどの周遊)をご用意しました。

学生時代の懐かしさや母校の現在、源氏物語の世界にも触れてみませんか。

※本旅行の企画・実施者(=申し込み・問い合わせ先)は、近畿日本ツーリスト京都支店です。

※当ページでは企画の概要のみを紹介します。お申し込みの際は、下記の専用ホームページまたは近畿日本ツーリスト発行のチラシにて、詳しい旅行条件を必ずご確認ください。

A コース 旧広小路キャンパス周遊と源氏物語ゆかりの地

- 校友である観光ガイドが随行し、広小路周辺の話話を織り交せてご案内します。
- 校友が経営するお店(★)を訪問します。



11/1(土)	京都市内ホテル泊(夕食は含まれません)
11/2(日)	京都駅 or ホテル9:00~9:30==「清輝楼」跡石碑……荒神橋……荒神口……「広小路キャンパス」跡石碑……御所グラウンド……「梨木神社」参拝……「廬山寺」参拝==京料理「萬長」(昼食★)==京和菓子「老松」にて和菓子作り体験(★)==「朱雀キャンパス」(車窓)==京つけもの「打田漬物」にてお買い物(★)==京都駅 16:00

旅行代金(2名1室利用の場合のお1人様、1名1室利用の場合は追加料金要。消費税込み)

32,900~36,400円(宿泊先により異なります)

B コース 衣笠キャンパス周遊と源氏物語ゆかりの地

- 下鴨神社では、神職のご案内による社殿参拝のあと、十二単の着付け解説、十二単姿による王朝の舞を古式ゆかしく、重要文化財(三井神社舞殿)にてご覧いただけます。
- 校友が権禰宜を務める上賀茂神社にて、普段入ることのできないご神域を神職がご案内し、国宝「本殿・権殿」を特別参拝していただきます。
- 立命館が運営する美術館、ミュージアムをご見学いただけます。



11/1(土)	京都市内ホテル泊(夕食は含まれません)
11/2(日)	京都駅 or ホテル9:30~10:00==「下鴨神社」(特別参拝)==「上賀茂神社」(特別参拝)==京料理「泉仙」(昼食)==「衣笠キャンパス」……「堂本印象美術館」……「国際平和ミュージアム」==京都駅 17:00

旅行代金(2名1室利用の場合のお1人様、1名1室利用の場合は追加料金要。消費税込み)

29,800~33,300円(宿泊先により異なります)

C コース びわこ・くさつキャンパス周遊と源氏物語ゆかりの地

- 現役学生の案内で、びわこ・くさつキャンパスをご見学いただけます。
- 紫式部が参籠し源氏物語を書きおこしたと言われる石山寺にて、源氏物語千年紀を記念した展示などをご見学いただけます。



11/1(土)	京都市内ホテル泊(夕食は含まれません)
11/2(日)	京都駅 or ホテル9:30~10:00==「石山寺」(紫式部展、源氏夢回廊見学)==石山「洗心寮」(昼食)==「びわこ・くさつキャンパス」==「滋賀県立琵琶湖博物館」(見学)==京都駅 17:00

旅行代金(2名1室利用の場合のお1人様、1名1室利用の場合は追加料金要。消費税込み)

28,900~32,400円(宿泊先により異なります)

D コース 宇治周遊と源氏物語ゆかりの地

- 源氏物語の五十四帖のうちの最終十帖の舞台である宇治にて、源氏物語をテーマにした博物館のご見学と世界文化遺産の宇治上神社をご参拝いただけます。
- 立命館宇治中学校・高等学校を車窓見学していただきます。



11/1(土)	京都市内ホテル泊(夕食は含まれません)
11/2(日)	京都駅 or ホテル9:30~10:00==「宇治市源氏物語ミュージアム」(見学)……「宇治上神社」(参拝)……宇治「花やしき浮舟園」(昼食)……「平等院」(庭園、ミュージアム、鳳凰堂見学)==「立命館宇治中学校・高等学校」(車窓)==京都駅 16:00

旅行代金(2名1室利用の場合のお1人様、1名1室利用の場合は追加料金要。消費税込み)

29,100~32,600円(宿泊先により異なります)

お問い合わせ先/旅行企画・実施

近畿日本ツーリスト(株)京都支店
Tel.075-221-7401 Fax.075-223-5192

※お問い合わせの際は、「立命館校友大会オプション企画の件」とお伝え下さい。

〒604-8005 京都市中京区河原町通三条上ル恵比須町437

営業時間/9:15~18:00 定休日/土・日・祝日

専用ホームページよりお申し込み下さい

<http://www.knt.co.jp/ksb/ritsumeikoyu2008/>
校友会ホームページ画面右上の「オール立命館校友大会2008」ボタンをクリックすると、上記ページへアクセスできます。

〈お申し込み締切〉2008年9月30日(火)

ただし、各コース定員40名(最少催行人員30名)。定員に達次第締め切ります。

校友大会 History

その時々母校の姿や世相によって変遷してきた、校友大会の様子をたどってみましょう。

京都法政学校設立 第二次世界大戦まで

1900～1945年

立命館大学の前身、京都法政学校が卒業生を出した後、折にふれて地域ごとの校友の集い等が開かれていたようですが、実質的な第1回全国校友大会は、1919(大正8)年11月23日、京都・円山の料亭「左阿彌」で開かれた「立命館大学創立20周年記念校友大会」でした。全国規模の立命館大学校友会組織が発足し、組織化が志向されたのが、この時でした。

この校友大会は、立命館のその後の発展にとって非常に重要な意味をもっていました。当時立命館大学は、名前こそ大学でしたが、制度上は専門学校のままでした。当時の大学令による大学になるためには、国への多額の供託金や、教学面・施設面でのいっそうの条件整備が必要だったためです。初代校友会会長畝川鎮夫をはじめとする校友たちは大学昇格を望み、創立者中川小十郎館長を説得、供託金の募金活動に奔走しました。その第一歩となったのがこの校友大会だったのです。この活動が実り、立命館は3年後に大学昇格を果たしました。

以来定期的に校友大会が行われましたが、1925(大正14)年・治安維持法制定、1929(昭和4)年・世界恐慌、1931(昭和6)年・満州事変という流れに校友会も影響を受けていきます。「校友会松茸狩・上賀茂グラウンド向背の山にて」(立命館學誌128号・1929(昭和4)年)という余裕を見せていた時期もありましたが、1938(昭和13)年には「出征校友の武運祈願をかね、校友会京都支部總會開かる」(立命館學誌209号)などの記録がみられます。

立命館の主なできごと

- ◆ 1900年 京都法政学校創設
- ◆ 1901年 広小路学舎へ移転
- ◆ 1922年 大学令(旧制)による大学昇格、認可。
- ◆ 1933年 京大事件(瀧川事件)で退官の教授・助教教授らを招聘
- ◆ 1939年 衣笠に立命館日満高等工科学学校開設(衣笠キャンパスの発祥)



大学昇格認可書

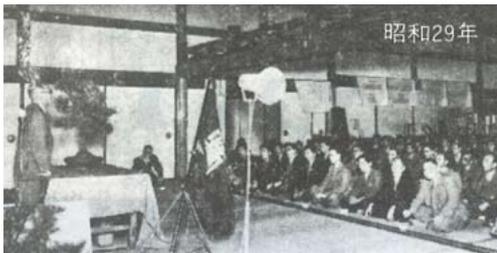
第二次世界大戦後～高度経済成長時代

1945～1960年代

戦後、校友会が「再建」されたのは、敗戦から4年後(校友会再建委員会決議録1949(昭和24)年5月)のことで、その年11月に「校友会再建全国大会」が開かれました。1950年、立命館が創立50年を迎えたのと機を同じくして校友会活動も活気づき、全国校友大会は原則的に春季・秋季の年2回開催されていました。春季は大学構内に集まり、秋季には学外に出て親睦会的色合いの濃い催しを行っていたようです。この頃の秋季大会は神社仏閣等が会場となることも多かったのも、現在では考えられない意外なことです。この時期、年1回のペースで総会を開く地方の支部(当時)が多くなりました。

立命館の主なできごと

- ◆ 1948年 新制立命館大学開設
- ◆ 1950年 立命館創立50年
- ◆ 1965年 広小路学舎から衣笠キャンパスへの学部移転始まる



1954(昭和29)年10月東福寺にて



1962(昭和37)年10月
嵯峨・天龍寺入口の案内看板



日除けのハンカチが
園遊会ならではの風景



1960年代後半までは戸外での園遊会形式が主流

大学紛争以後～昭和末まで

1960年代末～1980年代

1968(昭和43)年～1969(昭和44)年にかけて、全国的に大学紛争が多発。立命館の学内も荒れました。この影響を受けてか、1969年以降の校友大会は年1回秋に、主に「都ホテル瑞穂殿(当時)」を会場として開かれるようになります。参加者は毎年約500名～600名、若い世代や家族連れの参加も比較的多く見られました。

立命館の主なできごと

- ◆ 1969年 大学紛争。広小路中川会館封鎖。
- ◆ 1972年 長期計画委員会発足。
- ◆ 1981年 広小路学舎閉校、キャンパスは衣笠一拠点へ



1971(昭和46)年11月 都ホテルにて。この年、立命館創立70周年記念式典が催された。



1973(昭和48)年10月 都ホテルにて



1977(昭和52)年10月 校友会旗を製作。会場で披露された。



1981(昭和56)年11月 この年の大会は立命館創立80周年とキャンパスの衣笠一拠点化完成の祝賀を兼ね、13年ぶりに大学内の第一体育館にて開催された。

立命館の急速な発展期

1990年代から現在、そして未来

時代は平成を迎え、大学の規模拡充と相まって校友数は増加の一途をたどりまし。校友大会の参加者も1000名を超え、近年では1700名規模になっています。参加者増とイベント規模の拡大に対応するため、校友大会の会場は2002年に京都駅ビルの「ホテルグランヴィア京都」へ移り、06年まで同所で開催。さらに駅前という条件を活かして、現役学生による「交流イベント」「学園祭プレステージ」なども同時開催されるようになりました。

また、母校とともに歩む校友会のスローガンのもと、びわこ・くさつキャンパス(BKC)開設を祝って現地で開催した大会(1995(平成7)年)や、立命館アジア太平洋大学開学と立命館創立100年を記念して別府市にて開催した大会(2000(平成12)年)もありました。2007年には「RITSUMEX'07」オール立命館デー in 東京」を「東京国際フォーラム」にて開催、校友大会史上初めて立命館学園との共催の形がとられました。

今年(2007)は京都に会場を戻しますが、来年以降は全国有数の大学に育った立命館にふさわしく、京都以外の都市での開催も積極的に計画されていくことでしょう。ご期待ください。

立命館の主なできごと

- ◆ 1991年 大学全寮廃止
- ◆ 1994年 びわこ・くさつキャンパス(BKC)開設
- ◆ 2000年 立命館アジア太平洋大学開学



2005(平成17)年11月ホテルグランヴィア京都にて



学園祭プレステージ



2000(平成12)年5月 別府にての大会



RITSUMEX'07、東京にて

山本宝純

さん(61文)

千四百年の時を越えた 飛鳥大仏とともに

日本最古の仏教寺院「飛鳥寺」

奈良県高市郡明日香村。降り注ぐ蟬時雨をかきわけながら、「国営飛鳥歴史公園」の一画、甘樫丘に登ってみた。北側に大和三山を望み、東を見下ろせば飛鳥の里の豊かに広がる緑が目まぶしい(14ページ写真参照)。

6世紀末から8世紀初頭にかけて、ここ飛鳥には都が置かれていた。朝廷の人々や有力豪族が様々な人間模様を織り成しながら、日本が法治国家として発展するための初めの礎を築き上げていったのだ。また、飛鳥時代にはこの場所で、中国から朝鮮半島経由で伝来した仏教文化が日本で初めて目に見える形で花開いた。それが、日本最古の仏教寺院「飛鳥寺」であり、その本尊の「飛鳥大仏(釈迦如来坐像・重要文化財)」である。

現在の飛鳥寺は、寺域も1826年建立の本堂も里の風景にじっくり溶け込む規模のものであるが、6世紀末の創建当時には、中心の塔を囲むように建つ3つの金堂と回廊、

講堂を擁する大伽藍であったことが、1956、57両年に行われた大規模な発掘調査によって判明している(15ページ下の配置図参照)。

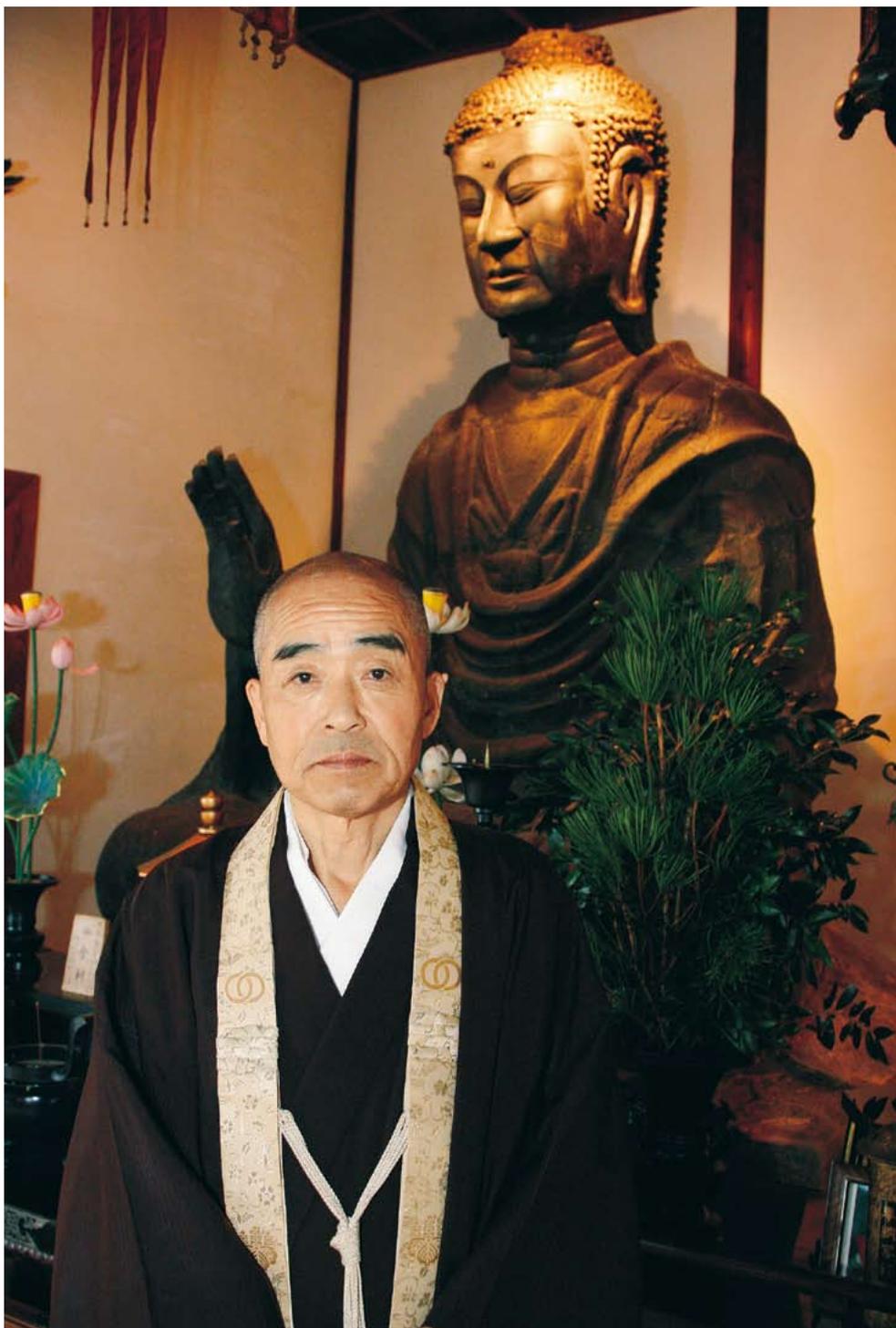
山本 この飛鳥寺は、蘇我馬子によって発願され、596年に創建されました。伝来してきた仏教は当時の日本を思想的にも文化的にも高めるものであり、推古天皇や聖徳太子も仏教に則った国づくりを目指していたのだと思います。ただ、推古天皇は日本古来の神を祀る信仰の主宰者でしたから、自ら先頭に立って異文化である仏教を受け入れることは立場上しにくく、そこで蘇我馬子や司馬達等、この司馬は飛鳥大仏をつくった仏師である鞍作止利の祖父に当たる人ですが、こういった民間の有力者に日本で初めての仏教寺院建立に当たらせてたのでしょ。

伽藍の配置など寺のプランの部分は高句麗から、建築の技術者は百濟から受け入れ、日本の飛鳥人も力を尽くしてこの寺は建てられました。加えて、仏塔の柱の下に安置

された仏舍利(釈迦の遺骨)は百濟の王から、大仏様を覆っていた黄金の半量は高句麗の王から贈られたものです。この寺は三つの国の合作なのです。

こうして仏教がこの地に根を下し、ご本尊の飛鳥大仏が出来上がった609年4月8日、要人たちが一堂に会して大仏さまの開眼供養が行われました。何も無い原野に等しかった飛鳥に出現したまったくの異文化、色鮮やかな大伽藍や黄金の大仏に、当時の人々はどれほど驚き、憧れを抱いたことでしょう。それは現代人の想像を絶するものであったと思います。

**いにしえの飛鳥人と
今も心を結べる喜び**



都が奈良へ移ると、飛鳥文化を支えた人々も去り、この地は一旦荒廃してしまう。飛鳥寺も飛鳥の地と命運を共にして、歴史の表舞台からは姿を消した。

しかし飛鳥大仏は、造立時に安置されたそのままの場所に、ずっと静かにお坐りになっていた。火災に焼かれ、雨風に打たれ、補修が繰り返された結果、一見痛々しい姿になってしまっているが、仏頭と右手の一部などは造立当初そのままのものが残っている

と言われている。

今年4月8日には、開眼から1400年目を迎えたのを記念する法要が、厳かに営まれた。

山本 1196年に起きた火災で飛鳥寺の伽藍は焼失し、大仏さまも大きな損傷を受けました。江戸時代初期に、寺の第一次の再建がなされるまでは、野ざらしになったり、ほとんど埋もれたような状態だったと思います

す。黄金こそ剥れてしまったものの、それでもこの場所から、ひたすら私たちに温かいまなざしを注ぎ続けて下さっていたのです。

推古天皇や聖徳太子が、そして蘇我馬子が、生きた眼で拝んだこの大仏さまのお顔を、1400年の時を経た今、私たちは同じようにこの場所で拝むことができます。それだけでも奇跡的なことです。

Rits



甘檜丘から眺める飛鳥。中央やや左寄りに飛鳥寺本堂が見える。

文化財指定制度の枠を超越した 飛鳥大仏

誰もが聖徳太子をご存知ですが、本で読むだけの遙かに遠い存在であるとお感じでしょう。でも、この大仏さまを拜んでおいでだったと思うと、「ああ、聖徳太子もやっぱり人間だ。私たちと同じなのだ」と、心理的な距離感がぐっと縮まります。やさしい、豊かな気持ちになれます。「ありがとうございます」もったいない」という美しい心持ち、感謝の念も自然に湧いてくるでしょう。それだけでも飛鳥へおいでになる価値があるというものではないでしょうか。

実は飛鳥大仏は、1940年から50年ま



飛鳥寺本堂

で国宝に指定されていた。しかし戦後、文化財の見直しが行われた際に、造立当時から変わらぬ部分が一部であることを理由として重要文化財とされたのだ。

山本 先代住職であった父も私も、国宝に戻していたきたいとお願いしてきましたが、実現には至っていません。しかし私は、この大仏さまの歴史的価値は、国宝とか重要文化財といった、人間が後から定めた制度の枠からは超越したものであると思っています。日本の仏教の原点なのですから。

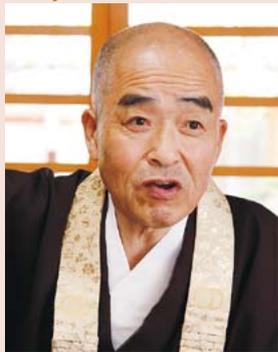
私はこの寺に生まれ、仏様のご飯をいただいて育ちました。正直なところ、若い頃、そこそ学生時代には、仏の道に入ることに対して葛藤もありました。けれども今、無事にこうしております。結局のところは、生を受けた時からずっとそばにいて下さる大仏さまの魅力と、そのお導きによるのだろうと思っています。

実際、この寺と大仏さまの歴史的・文化的な価値のおかげで、百済時代に創建された韓国・扶余の古刹である「修徳寺」と寺同士の姉妹縁組をして交流するという貴重な経験もさせていただきました。

また、韓国からたくさんのお客様が来てくださるのも嬉しいことです。韓国には、百済時代の文化を色濃く残すものもあまり残っていないのですね。百済が新羅に敗れたこともありまして、韓国の方には、この大仏さまと対面されると、「百済のかかりがす」と喜ばれます。こうして日々、小さくとも心温まる文化交流を重ねております。

私は、歴史ある寺と最高の仏さまをお守りしながら一生を過ごしてこられたことに、大変感謝しています。

Houjun Yamamoto

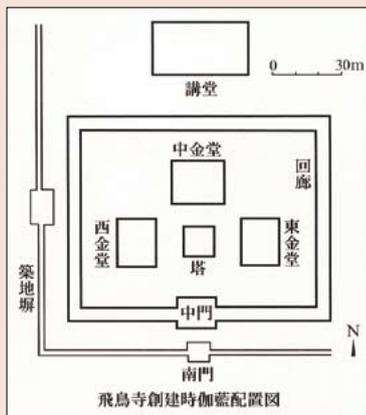


- 1938年 飛鳥寺に生まれる
- 1961年 立命館大学文学部卒業
僧侶資格取得のため、大正大学仏教学部に学ぶ。
その後、松本寺(大和郡山市)住職、飛鳥寺副住職を経て
- 1986年 飛鳥寺住職となる(中興第22世)
明日香村教育委員長等を歴任。

【飛鳥寺の歴史】

(飛鳥寺参拝のしおり「飛鳥寺略縁起」より)

- 588年 蘇我馬子が発願
- 596年 創建
(当時の大規模な伽藍配置は下図の通り)
- 609年 本尊飛鳥大仏(釈迦如来坐像)開眼
- 887年、1196年 火災にて焼失、荒廃する。
- 1632年、1826年 再建



(飛鳥寺参拝のしおりより)

立命館の仲間同士で守る 飛鳥蹴鞠

さて、この飛鳥寺は、「大化の改新」を行った中心人物といわれる中大兄皇子と中臣鎌足の出会いの場所としても知られ、そのきっかけは蹴鞠の会だったとされている。このような縁で、飛鳥寺は飛鳥蹴鞠の本拠地としての顔も持っている。

去る2001年、「飛鳥蹴鞠会」が結成された。代表は明日香村在住で山本さんが懇意にしている立命館校友、服部光晴さん(71経営)と同じく村の校友である嶋岡治さん(71経営)が副代表である。もちろん山本さんも活動に参加している。飛鳥には蹴鞠を通じた楽しい立命館コミュニティがあるのだ。

山本 服部さんらは、飛鳥時代に行われていた蹴鞠を何とか復活させたいとの強い願いをもって明日香村文化協会とともに文献調査

等に勤しみ、飛鳥蹴鞠のルーツが紀元前の中国の軍事的鍛錬にあることや、競技の際に着用されていた装束などについて見解をまとめられました。この写真の装束、京都の公家の蹴鞠とは違いますでしょう。そしてみんなで実際に蹴鞠を楽しもう、普及活動を行おうということ、

「飛鳥蹴鞠会」を立ち上げられたのです。この寺でも、お釈迦様の誕生日の4月8日を蹴鞠の日と定めて、寺のすぐ西側にある「槻の木」の広場で毎年奉納蹴鞠を行っていたいただいております。もちろん今年の記念法要の際にも行いました。

どなたもお仕事を持ちながらの活動ですので、練習も、後継者の育成もなかなか大変なのですが、いろいろな出演依頼にも応えつつ頑張っております。明日香村が誇る伝承芸能・飛鳥蹴鞠を、郷土愛と立命館校友の絆をいかして守っていくために、私も微力ながらお手伝いをしたいと思っております。

何はともあれ、古代飛鳥文化のかおりと、ほのぼのとした立命館人の縁を楽しめる飛鳥



飛鳥蹴鞠会の皆さん。(中央)山本住職、(右端)服部代表 [写真提供: 服部光晴さん]

へ、皆さんもどうぞいらして下さい。お待ちしております。

恩師の窓

恩師の近況や人となり、思い出を、教え子が紹介します



からさわ けい
唐沢 敬 先生
名誉教授(国際関係学部)
国際経済学・資源環境経済論

先生からの一言

世界経済と国際関係が激変する中、若い諸君と政策研究集団「Professional 21」という組織を作り、国際研究・開発支援の活動を続けています。立命館大学で教室を共にしたゼミ卒業生のみなさん、連絡を待っています。



卒

業するに際して唐沢先生から頂いた言葉、「卒業してからが本当の人生・勉強だよ」は、正しく社会人になって初めてその意味を感じることが出来ました。先生の人となりはこの言葉に集約されるのではないのでしょうか。現実の諸問題に鋭い視線を送りながらも大局的な視点を持って物事を見極める姿勢。常に頭を働かせ最後まで妥協しない研究者としての人生。教え子に向ける厳しい態度の裏にある深い愛情。先生自身、年齢を重ねる度に深みを増しています。

先生は、2001年に立命館大学を退職された後、東京の複数の大学で教鞭をとる一方、執筆活動や海外での講義・講演・研究活動も精力的に行っています。益々活発になる一方のエネルギーには驚かされるばかりです。ただ、ゼミ生では誰もが知っている先生に全く変わりありません。研究会では、腕組みしながら話を聞いているような・いないような素振りをして、突然鋭い指摘を投げかけてきます。

近年、先生を中心に、実務家、大学教授、学生など幅広いキャリアや年齢層を持つ教え子が集まって、国際協力・開発支援「Professional 21」(PF21)、事務局長・黒須」という政策研究集団を作り、研究・社会貢献活動を行っています。「勉強でなく、研究だよ」は、私にとって先生のもう一つの名言です。一方的に伝達される知識や経験を勉強するのではなく、自分で目標を設定し考え辿り着く努力をすること。PF21は正しく研究の場として、海外での調査・支援活動の実施なども視野に入れ活動しています。

「社会にインパクトを与えることの出来る研究と専門家の育成」が先生の夢。先生に教えてもらえばかりでなく、これからは教え子である私達が、各々が歩んできた様々なキャリアを通して培った何かをもつて、先生の夢を超えてゆきたいと考えています。



なみえ いわお
浪江 巖 先生
名誉教授(経営学部)
労働問題・労務管理

先生からの一言

“生きるための労働がその支えにならず、かえってそれを脅かす”——おかしなことですね。こんなご時世だけに、皆さんがどうなさっているか、ふと気にもなります。当方、定年退職後は適度に働き、楽しく遊んでいます。



バ

ブル経済崩壊後、グローバル化が進展する中で、日本の企業は厳しい競争にさらされており、生産および労働力確保の問題が表出してきております。これは、経済の主体である企業の構成要素である「ヒト・モノ・カネ」に関して、生産される「モノ」や、獲得される「カネ」と比較して、それらを生み出す主体としての「ヒト」に対する重要性の認識が低下しており、そのようなバランスを欠いた認識に基づいて社会が構築されている結果であると、私には思われます。

先生は、まさに現代の企業が直面している「ヒト」に関する問題を、長年にわたって最前線で研究してこられました。「ヒト」に関する議論では、企業を構成する要素としての観点と、幸福を追求する主体としての観点等、多くのケースで考えが対立しがちですが、先生はどのような意見も否定することなく、最新の事例を題材にご自身の考えも織り交ぜながら講義されていた事が印象深く残っています。

私たちは、先生にとって立命館大学最後の教え子となりました。先生にとつて素敵な思い出として残るよう、図書館にこもり懸命になって卒業論文に取り組みましたが、個性溢れるゼミ生ばかりで、先生を悩ませることも多かったかと思えます。私たちの在学中は、多方面でご活躍の先生はお忙しかったため、なかなか個人的にお話を伺う機会がなかったことが心残りでした。皆さん、ぜひ先生を囲む会を開きませんか。

最後になりますが、これからの先生のご健勝と、益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

恩師の窓

恩師の近況や人となり、思い出を、教え子が紹介します



もりた こうへい
森田 浩平先生
名誉教授(産業社会学部)
社会心理学

先生からの一言

ゼミの学生を思い浮かべると思い出されるのは、一緒に遊んだことばかりである。しかし遊びが学びを導くという意味で、よく遊ぶ人はよく学ぶ人でもある。これからもよく遊び、その成果を仕事に存分に反映させて下さい。



教え子
藤澤 一
(92産社)
(株)新通
京都支社勤務

大

学を卒業して十六年余り、広告業界という社会に身をおき、現在も広告会社に勤務しています。大学時代に社会心理学に興味を持ち、森田先生とお会いしたわけですが、今思えば、自然と仕事において先生から学んだことを実践している気がします。

森田ゼミにおきまして、私はゼミ内のコミュニケーションを図ればとの思いで旅行やコンパを企画していました。当時のゼミは女子学生が半数以上だったと記憶していますが、森田先生をはじめ、多くの参加を得てイベントを実施しました。中でも、テニスとスキーが趣味だった森田先生に提案して、スキー旅行に行ったことを覚えています。先生のスマートな滑りに皆が歓声をあげていました。先生は普段、物静かでも自然体な方でしたので、学生とも溶け込むように馴染んでおられ、楽しんでおられたのが印象的です。

森田先生の講義の印象は「わかりやすい」ことでした。社会のなかで人と人が交わる上で大切なコミュニケーション。そこに「わかりやすさ」が加わり、それがあからこそ、理解が生まれるのだと思います。私自身、広告営業という仕事のなかでデータの蓄積であるマーケティングだけではなく、消費者の動向などを社会心理学的にアプローチした提案でクライアントに納得していただいています。そこでも「わかりやすさ」が重要だと感じています。

今後も、森田先生から学んだ社会心理学を生かしながら、実社会で実践していければと思います。

また、森田先生も退職されて七年ほど経ったとのこと。同窓会も卒業して一年後に企画させていただきましたが、久しぶりに森田先生にお会いできる機会を作れればと思っております。

利

根川先生に教えるを受けるようになって、研究科まで足かけ十一年になります。政策科学部開部から十五年間の先生のお時間のうち、三分の二以上も学ばせていただいたことに感謝が絶えません。

先生は、いつもニコニコと微笑みながら、親切丁寧に基礎演習やゼミにおいて迷走する私どもを導いてくれました。十年経ったいまでも、基礎演習のメンバーで連絡を取り合い頻繁に会っているのは、先生が作り上げてくれた基礎演習の時間とその濃度が、私どもの中で忘れ得ぬ経験になっているからだと思います。

ゼミでは「インターネットと企業」をテーマに、ゼミ生の半数以上が基礎演習のメンバーという中、和気藹々と研究させていただきました。終始楽しみながらも、先生のお教えのおかげで研究の成果をきっちり出せたというところは、皆の求職結果からも明らかでした。そして、私がか社を立ち上げ実社会でプロジェクトを進めて行く中で、自分の学術的背景の弱さを痛感したとき、研究科への道が当然のように浮かびました。それは、先生に教えるを受けた基礎演習・ゼミでの自分のアカデミックな成長が忘れられなかったからだと思います。

研究科では、学部時代以上に丁寧な、そして時には厳しく教えていただいております。ほぼマンツーマンのリサーチプロジェクトなので、マーケティングの基本から最先端の理論まで、先生の専門外のことでも親身になって教えていただいております。また、「マーケティングと別分野のコラボレーション」というように、「政策科学部らしさ」を意識して、幅広い視点からの思考と研究をするようにおっしゃっていました。これからは先生から教えていただいたことをバックボーンにして、楽しみながら生涯学んでいこうと思います。末筆ですが、先生のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



とねがわ こういち
利根川 孝一先生
教授(政策科学部)
情報システム学・社会システム工学

先生からの一言

ゼミ卒業生の大多数の皆さんは30歳前後。そろそろ「もうあまり若くはない」と気づく年頃ですね(?)でも、仕事については今こそ育ち盛りです。なんでも積極的にチャレンジ。ドンドン成長してください。



教え子
足助 重成
(院政策M2)
(株)メディアラダー
代表取締役

Alumni Association Network

*詳しくは校友会ホームページをご覧ください

<http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/al/>

- 7/6 京都八幡支部総会
(30名・朱雀キャンパス)
- 8/23 長野県飯伊地区会総会
(20名・殿岡温泉)
- 8/29 湘南クラブ総会
(30名・ホテル好養)



京都八幡支部総会

職域校友会

- 6/14 南都銀行立命会総会
(80名・橿原ロイヤルホテル)
- 6/17 池田銀行比叡会総会
(40名・ホテル・アイボリー)
- 6/18 大阪市役所立命館校友会総会
(40名・道頓堀ホテル)
- 6/18 西宮市役所立朋会総会
(40名・西宮神社会館)
- 6/25 堺市役所わだつみ会
(60名・リーガロイヤルホテル堺)
- 6/28 行政書士京都立命会総会
(20名・京都ロイヤルホテル)
- 7/18.19 八尾市役所立八会総会
(30名・大和屋本店)
- 8/29 愛R会総会
(立命館プラザ名古屋)
- 8/30 立命館学園会計人会総会
(50名・京都ホテルオークラ)



西宮市役所立朋会総会

学部・学科校友会

- 6/14 経営学部校友会総会
(60名・ホテルグランヴィア京都)
- 6/14 電友会九州・沖縄支部総会
(15名・KIRIN SOW-SOW)
- 6/15 機友会兵庫支部総会
(35名・クラウンプラザ神戸)



法学部同窓会総会

- 6/21 法学部同窓会総会
(220名・京都ロイヤルホテル & スパ)
- 6/21 立命電友会総会
(160名・ホテルグランヴィア京都)
- 6/23 関東建設会総会
(40名・大手町サンケイプラザ)
- 7/5 塩田ゼミ同窓会総会
(60名・リーガロイヤルホテル京都)
- 7/25 滋賀衣笠会総会(建設会滋賀県支部)
(40名・琵琶湖ホテル)



関東建設会総会

サークルOB・OG会

- 7/26 ESS OB会総会
(朱雀キャンパス)
- 8/10 憲法研究会OB会総会
(25名・洛翠)

その他の会

- 6/14 スポーツフェロー総会
(450名・京都全日空ホテル)
- 6/28 ウリ同窓会総会
(90名・弥生会館)
- 7/20 48立命土木同期会
(35名・ルビノ堀川京都)
- 8/9 昭和63年土木工学科卒業20周年同窓会
(60名・ホテル松井)
- 8/30 2008ALL立命館交流パーティー
(立命館慶祥中・高)



スポーツフェロー総会



ウリ同窓会総会



48立命土木同期会



昭和63年土木工学科卒業20周年同窓会

校友会ネットワーク

2008年6月上旬～8月に行われた各団体の行事です(判明分)

都道府県校友会ほか

- 6/8 静岡県校友会ALL-RITS校友の集い
(60名・クーボール会館)



愛知県校友会新卒歓迎イベント

- 6/8 徳島県校友会総会
(56名・阿波観光ホテル)

- 6/14 関東新校友歓迎会
(150名・パナソニックセンター東京)



関西新卒歓迎会

- 6/14 愛知県校友会新卒歓迎イベント
(100名・ザ・ワインバー)

- 6/14 関西新卒歓迎会
(102名・長楽館)



高知県校友会総会

- 6/21 新潟県校友会総会
(78名・万代シルバーホテル)

- 6/21 高知県校友会総会
(60名・城西館)

- 6/21 熊本県校友会総会
(50名・熊本全日空ホテル
ニュースカイ)



山梨県校友会総会

- 6/28 山梨県校友会総会
(40名・ホテル古名屋)

- 7/4 大阪校友会年次大会
(700名・ザ・リッツカールトン大阪)



大阪校友会年次大会

- 7/5 富山県校友会総会
(80名・名鉄トヤマホテル)

- 7/6 滋賀県校友会総会
(70名・ボストンブラザ草津)



富山県校友会総会

- 7/13 岩手県校友会総会
(16名・ホテル・ニューカリーナ)

- 7/13 長野県校友会総会
(26名・松本グリーンホテル)



滋賀県校友会総会

- 7/19 秋田県校友会総会
(24名・ホテルメトロポリタン秋田)

- 7/19 愛媛県校友会総会
(50名・東京第一ホテル松山)



長野県校友会総会

- 7/26 青森県校友会総会
(22名・ホテルアラスカ)

- 7/26 宮城県校友会総会
(36名・勝山館)



秋田県校友会総会

- 7/26 神奈川県校友会総会
(64名・勝陽軒本店)

- 7/26 岐阜県校友会総会
(130名・ホテルグランヴェール岐山)



愛媛県校友会総会

- 8/2 香川県校友会総会
(110名・喜代美山荘花樹海)

- 8/2 沖縄県校友会総会
(37名・ホテルロイヤルオリオン)



青森県校友会総会

- 8/30 岡山県校友会総会
(200名・ホテルオークラ岡山)



宮城県校友会総会



神奈川県校友会総会



岐阜県校友会総会



香川県校友会総会

地域校友会

- 6/14 東広島地区校友会総会
(29名・広島グリーンホテル
モーリス)



東広島地区校友会総会

- 7/5 山口県周南地区校友会総会
(41名・ホテルサンルート
徳山)

社会との「コラボレーション」による
学園づくり

山形大学との協定

6月19日、立命館大学は山形大学と「包括的協力協定」を締結しました。

山形大学は「学生中心の大学創り」を掲げ、ファカルティー・ディベロップメント(FD)と呼ばれる教員の授業内容や方法を改善するための組織的な取り組みを進めており、質の高い人材育成を行っています。このような取り組みは、学生相互の学び合いを重視し、「学習者を中心とした教育」を掲げる立命館大学の精神と共通性を持ちます。また、山形大学と立命館大学は設置形態、立地、規模等において、全く異質の大学もあります。このような両大学が連携・協力することによって、新たな教育創造を目指します。

この協定に基づき、今後次の3点を進めます。

①両学長による講演会の実施

協定の意義・目的を全学で共有するために、両学長がお互いの大学において講演会を実施します。

②学生交流

「学生中心」の大学創りを進めるために、双方の大学が抱える課題や特徴を学生が正課・課外の両面から分析・調査して、それぞれの学長にプレゼンテーションを行います。

③職員交流

両大学の若手職員が、大学が共通して抱える現代的課題について、共同の作業グループを編成、検討し、お互いの学長に対して改善提案を行います。また、職員の派遣、受け入れ等も検討します。

広島大学との協定

8月4日、立命館大学は広島大学と「平和教育・研究」を中心とした諸分野での連携や文化的交流

を深めることを目的とした協力協定を締結しました。両大学の研究・教育資源を活かし、「世界へ発信する平和学研究拠点づくり」・「平和分野における高度人材育成」を推進していきます。

具体的には、(1) INU (International Network of Universities) 国際大学ネットワーク。2008年7月1日現在、9カ国11大学が加盟) 加盟大学とのダブルディグリープログラムの開発、(2) 両大学大学院における単位互換の実施、(3) 「平和」に関するINU学生セミナーの開催などを進めます。

立命館大学は世界初の大学立平和博物館である「国際平和ミュージアム」を開設(1992年)し、広島大学もわが国初の平和学に関する学術的研究機関である「平和科学研究センター」を設置(1975年)しています。今回の協力協定の締結を契機に、更なる平和への取り組みを進めていきます。



日本商工会議所との産学連携協定

7月22日、学校法人立命館は、国際的な人材育成と地域経済の活性化などを目的として、日本商工会議所と産学連携協定を締結しました。日本商工会議所とは産学連携で中小企業の国際化支援を進める「グローバルな産業人材育成・確保事業の構築」に取り組みことで合意し、これに基づく新たな人材育成スキームを立ち上げます。

日本商工会議所は全国516商工会議所のネットワークを持っています。国際化で実績を持つ本学園との協定によって、社会のニーズに合ったキャリア教育を実現し、国際社会で活躍する企業活動に

適した人材育成を目指します。

連携事業の柱は、(1) 立命館アジア太平洋大学などで学ぶ外国人留学生の就職支援、(2) 国内の日本商工会議所会員企業や在外日系企業でのインターンシップ、(3) 簿記などの

資格講座、検定試験を使ったキャリア教育の実施などです。既に、在外日系企業と外国人留学生の就職マッチングや、中学校・高等学校・大学での検定講座の実施などが計画されています。

協定締結にあたり、肥塚浩副総長は「アジアの懸け橋となる人材の育成を共通の目標として、力を合わせたい」、また青山伸悦日本商工会議所理事は「立命館は小学校から大学院までを持つ総合学園で、教育の国際化にも力を入れている。その広がりを持った多彩な共同事業を展開したい」と語りました。

大阪初芝学園との提携協定

7月22日、学校法人立命館は、大阪府と和歌山県で高等学校3校・中学校3校などを運営している大阪初芝学園と提携協定を締結しました。

2009年度から、初芝高等学校と初芝堺中学校にそれぞれ立命館大学・立命館アジア太平洋大学への進学コースを設け、名称を「初芝立命館高等学校」、「初芝立命館中学校」とし、教職員交流も進めます。また、立命館大学・立命館アジア太平洋大学に推薦入学する「立命館コース」を初芝立命館高等学校(定員240名)と初芝橋本高等学校(定員40名)に設置するほか、初芝立命館、初芝橋本、初芝富田林の各高等学校に特別推薦枠も新設します。

これにあたり、川口清史総長は、「大阪南部においても立命館の教育を身近に感じて欲しい。中学から大学までの一貫教育の新しいモデルをつくりたい」と語りました。



教育・研究の成果

2008年度国家公務員I種試験に36名が合格

6月24日、国家公務員採用I種試験の合格発表が行われ、立命館大学からは36名が合格しました(全国私大4位。昨年度は31名)。

全国の合格者数は前年度より36名少ない1545名でした。

グローバルCOEに歴史都市を守る「文化遺産防災学」

文部科学省「グローバルCOEプログラム」に、立命館大学からは「歴史都市を守る『文化遺産防災学』推進拠点」が採択を受けました。

歴史都市を守る「文化遺産防災学」推進拠点(拠点リーダー:大窪健之理工学研究科総合理工学専攻教授)は、「グローバルCOEプログラム」に先立つ「21世紀COEプログラム」において歴史都市京都を主な対象として防災研究を進め、文化財防災のための課題の抽出と基礎的研究を実施してきました。今プログラムではその成果の上に立ち、文化遺産防災技術の研究開発、若手研究者などの人材育成、文化遺産防災学の教育研究における国際貢献を行います。

外来魚ブルーギルから養鶏向けの飼料をつくることに成功

久保幹総合理工学院・生命科学部教授

久保幹総合理工学院・生命科学部教授らは、琵琶湖の生態系を壊すとして駆除対象になっている外来魚「ブルーギル」から、養鶏向けの飼料をつくることに成功しました。世界的な穀物の供給不足で飼料価格が高騰しているなか、養鶏業者から注目を集めています。

飼料は大豆かすを分解する「HA12」という微生物を使います。ブルーギルを細かく砕いた後、この微生物を加えて分解し、飼料に混ぜます。地元産の

近江シヤモに与えたところ、通常の飼料に比べて体重が増えたといえます。安全性は問題なく飼料の価格も従来とほとんど同じ。一年後を目処に実用化する考えです。

北京大学の代表団50名が来学

7月25日、「2008年中青少年友好交流年」の事業の一環として日本政府が招聘する中国青年代表団(北京大学学生41名・教職員9名)が立命館大学衣笠キャンパスを訪れました。

これは、北京大学を中心とする中国の大学生と日本の大学生との合同合宿セミナーとホームステイを通じて、日中両国青少年の相互理解を促進することを目的としたものです。

北京大学の学生らは「熱烈歓迎」の横断幕に迎えられる。衣笠キャンパスへ。和楽器や茶道を紹介する歓迎イベントが行われ、北京大学の学生は日本側の指導を受けながら、琴の演奏などにチャレンジしました。また、立命館大学の教職員の自宅でのホームステイも楽しめました。

今回の中国側の日本訪問は、北京大学の学生を含め全体で125名。東京なども訪問しました。



キャンパス・アメニティの充実

BKCにサンドイッチ・チェーン店「サブウェイ」がオープン

6月24日、びわこくさつキャンパス(BKC)内に、サンドイッチ・チェーン店の「サブウェイ」がオープンしました。

同店は、学生のニーズに合わせた低価格でヘルシーな立命館オリジナルメニューを用意し、昼食

時の混雑緩和に貢献するとともに、豊富な野菜を使った健康的な食の提供を通じ、学生および教職員の満足度の向上を目指しています。

またBKC店限定メニューとして、草津市産の野菜を使ったサンドイッチやモーニングセット、ランチセットも提供しています。



「立命館名古屋フォーラム」ものづくりはひとつくり(仮称)を開催します

東海地区の方々を対象としたフォーラム、「立命館名古屋フォーラム」ものづくりはひとつくり(仮称)を実施します。

名古屋の経済力を支えている「ものづくり(産業)」。この「ものづくり」を活性化させているのは「人」であり、人づくりが「教育」です。社会が複雑化する中で、教育の重要性を議論しながら、これからの教育のあり方について考えていきます。

コーディネーター・パネラーとして、左記の本校友の方々もお迎えする予定です。皆様ぜひご参加ください。

日時

2008年11月15日(土)

13時30分~16時(13時開場)

※愛知県校友会総会の開催日に実施します。

会場:名古屋商工会議所大ホール

定員:500名

コーディネーター

パネラー

鳥田佳幸氏(株)中日新聞社編集局論説委員 '85産社

蟹江嘉信氏(分)コメ(株)元代表取締役社長 '82経済

奥田 誠氏(株)森野村塾研究所名古屋オフィス代表 '86理工ほか

*詳細は、追って立命館大学ホームページでご案内します。

更新することができました。大きな自信になりました」と北京五輪の結果を報告し、学園に五輪記念プレートを寄贈した。川口総長は「全国の校友を勇気づける活躍でした」と健闘を称えた。

なお、9月6日～17日まで行われる北京パラリンピック水泳には、江島大佑選手（'08産社）が出場します。

CULTURE / ART

文化・芸術

問い合わせ先：学生オフィス
075-465-8167

将棋研究会

「盤樹の森」第4回毎日杯争奪全国大学対抗将棋大会

(8月7日 神奈川県箱根町ホテルおかだ)

▶初優勝

この大会、本学将棋研究会は9戦全勝で初優勝を飾った。

将棋研究会主将の岩田成雄さん（経営3）は、「今回は対戦校よりもまず自分たちのチームをよく理解し、戦い方を変えた結果、予想以上にその戦略が成功し優勝に繋がった。今冬の王座戦では、また一から戦略を立てて万全の体制で勝ちに行きたいと思います」と力強く語った。

かるた会

第15回全日本大学かるた選手権大会

(8月10日 滋賀県大津市近江神宮青少年研修センター近江勸学館)

▶団体の部 優勝

▶個人・大学代表の部 準優勝
上田貴之（経済3）

バトントワリング部

第29回世界バトントワリング選手権大会

(8月9日 アイルランド リマリック市)

▶チームの部 優勝(2年連続)

情報理工学部プロジェクト団体
ロボカップ・シミュレーション部門 (Ri-one)

Robo Cup世界大会2008

～中国・蘇州大会

2Dサッカーシミュレーションリーグ

▶第9位

レスキューシミュレーションリーグ

▶初出場 第10位

(7月14日～20日 中国・蘇州)

「Robo Cup世界大会2008～中国・蘇州大会」の2つのリーグに、本学の情報理工学部プロジェクト団体「ロボカップ・シミュレーション部門 (Ri-one)」が出場した。Ri-oneは、3年連続出場を果たし、2Dサッカーシミュレーションリーグで第9位の成績を取めた。また初出場となった「レスキューシミュレーションリーグ」(コンピュータ上に作り出された大規模災害に対して、消防や警察などのエージェントが災害救助活動を行い、災害時の救助戦略を競うリーグ)では、第10位の成績だった。

草津宿場祭に能楽部・
将棋研究会・囲碁研究部・
放送局が参加

(4月28日～29日 滋賀県草津市内)

4月28日・29日の2日間にわたり、草津駅周辺地域で第40回草津宿場まつりが開催された。立木神社の会場では、立ち見ができるほどの盛況ぶりだった。

29日の当日祭では、宿場おどりや江戸時代の大名行列を再現した「草津時代行列」が行われ、将棋研究会・囲碁研究部・放送局が参加した。将棋・囲碁の対局には宿場まつりに参加した地域の方々も



集まり、本学部員と汗をにぎる熱戦を繰り広げていた。

放送局はアマチュアダンサー・バンドの祭典の司会を務め、駅前の街道ふれあい広場に活気を呼びこんでいた。

なお、紹介した課外活動団体だけでなく、宿場祭り実行委員会にボランティアで参加している本学学生も数多くいる。

立命館大学訪中団
学生実行委員会

ミャンマー・サイクロン/
中国大地震災害チャリティーイベント

「Potential of Your Voice

～世界に広がる愛がR～」を開催

(7月15日～17日、19日 衣笠キャンパス)

7月15日～17日、衣笠キャンパス西側広場において、立命館大学訪中団学生実行委員会が、



ミャンマー・サイクロン/中国・四川大地震災害チャリティーイベント「Potential of Your Voice～世界に広がる愛がR～」を開催した。

このチャリティーイベントは、2008年3月に温家宝首相より招待を受け、中国の大学などにおいて学生交流や研究交流を行い親交を深めた学生たちが中心となって、ミャンマー・サイクロン/中国・四川大地震で被災した現地の復興に向け、「何か自分たちにできることがあるのではないか」という思いから企画したものである。

また19日にも、外務省国際協力局国際緊急援助室長の小泉崇氏をお迎えし、「中国四川省大地震緊急援助活動に参加して」というテーマで現地報告、学生を交えての意見交換会などを開催し、学生団体によるパフォーマンスも披露した。

SPORTS & EVENTS

S P O R T S

スポーツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター
075-465-7863

アーチェリー部

全日本フィールド選手権大会

(6月22日 北海道芽室町新嵐山スカイパーク特設射場)

- ▶ 女子リカーブ 優勝 林享美 (政策2)

弓道部

全国大学弓道選抜大会

(6月29日 明治神宮至誠館弓道場)

- ▶ 団体優勝



全日本学生弓道選手権大会

(8月9日～11日 グリーンアリーナ神戸)

- ▶ 団体3位

ゴルフ部

第31回全国女子大学ゴルフ対抗戦

(6月19日～20日 北海道勇払郡 オークウッドゴルフクラブ)

- ▶ 女子団体 優勝

山田佐知 (経済4) 川満陽香理 (経済3)

小橋絵理子 (経営2) 園田絵里子 (文2)

亘悠美子 (経済2) 平田円香 (経済1)

本大会は、出場選手5名のうち上位4名のトータルスコアで順位を競い合う団体戦で、今年は9校が参加した。女子団体



戦では、創部42年にして念願の初優勝。通産143ストロークで園田絵里子さん(文2)が最優秀選手に選ばれた。

重量挙部

全日本女子学生重量挙個人選手権大会

(5月16日～18日 羽曳野市立総合スポーツセンター)

- ▶ 女子個人 58kg級優勝 谷口亜純 (産社3)
- ▶ 女子個人 69kg級優勝 大杉星子 (法3)

男子ソフトボール部・女子ソフトボール部

西日本大学選手権大会

(8月8日～10日 宇部市東部体育広場)

- ▶ 男子 準優勝
- ▶ 女子 準優勝

卓球部

全日本大学対抗卓球選手権大会

(8月7日～10日 広島市東区スポーツセンター)

- ▶ 男子 団体ベスト16
- ▶ 女子 団体準優勝

バドミントン部

関西学生選手権大会

(6月23日 大阪市東淀川体育館)

女子シングルス

- ▶ 優勝 土井奈杏 (産社1)
- ▶ 準優勝 北吉穂香 (産社2)

女子ダブルス

- ▶ 優勝 若杉文音 (産社4)・新藤綾 (産社3) ペア
- ▶ 準優勝 北吉穂香 (産社2)・大谷瞳 (文2) ペア



女子陸上競技部

アジアジュニア陸上競技選手権大会

(6月12日～15日 ジャカルタ)

3000m

- ▶ 優勝 沼田未知 (理工1)

附属校のスポーツ

立命館宇治高等学校硬式野球部

全国高校野球選手権京都大会

- ▶ 準優勝

夏の甲子園を目指す京都府予選、立命館宇治高校は決勝まで駒を進めたが、福知山成美高校に惜しくも敗れた。

今大会に入る前にエース投手が負傷した立命館宇治高校は、二塁手の中野翔太選手を投手に抜擢し、大会を戦い抜いてきた。



★北京オリンピック出場校友の試合結果

<セーリング49er級>

牧野幸雄 選手('04経済)

- ▶ 最終結果 12位

<女子重量挙げ69キログラム級>

齋藤里香 選手('06産社)

- ▶ 8位入賞

スナッチ	87キログラム
クリーン&ジャーク	122キログラム (日本新)
トータル	209キログラム

齋藤選手は8月28日(木)朱雀キャンパスを訪れ、「皆様の温かいご声援のお陰で日本新記録を



1996年からおよそ12年間にわたり広報(旧・編集)委員長を務めさせていただきましたが、前号でお知らせいたしましたように、このたび、その任を退きました。委員長在任中には校友の皆様からご理解、ご協力を賜った上、貴重なご意見・ご鞭撻を賜り、誠にありがとうございました。その一つひとつへのお礼やお返事がかなわず、また、これまで掲載内容に誤り無きよう期したつもりですが、残念ながら意がかなわず、一部誤りがあったこともありました。この場を借りてお詫び申し上げます。

中村和歳新委員長のもと、「新生」広報委員会からいっそう皆様に愛される校友会報が生み出されることを願いつつ、ご挨拶いたします。(尾崎)

今年6月の幹事会で新体制の広報委員長を任命されました中村和歳(61文)です。校友会の編集・広報委員として微力ながら18年間活動し、校友の皆様にお届けする唯一の会報「りつめい」を通じて母校の様子や全国校友の活躍ぶりを発信してきました。時には「教育を語る」と題したコラムを書き、また広小路周辺の取材や、校友・恩師、そして留学生のインタビューなども経験しました。今後は、もっと広い世界で活躍する校友のご協力もお願いして、立命館で学んだ魂や命を卒業生の視点で語り伝えたいと思います。校友の皆様と共に作る校友会報を目指します。(KAZ)

このたび広報委員に選任されました。どうぞよろしくお願い致します。日々変革する母校立命館と校友会の様子を、ご子女も入学させたいと思っただけのように紹介していきたいと思っています。校友大会にもどうぞ足をお運びください。(jin)

学生スポーツを追い続けた大学時代。卒業して2年半、思わぬ形で再び大学に、そして編集に関われることを有難く思う。広報委員として、一校友として、感謝の気持ちを込めて。立命館の今と向き合い、伝えていけたらと思う。(pow)

このたび新しく広報委員に選ばれました。重責に身の引き締まる思いです。微力ながら、校友の皆様は学内外の新鮮な情報を提供し、楽しみにして頂ける誌面作りにも少しでも貢献できるように頑張っています。皆様どうぞよろしく。(M)

広報委員会に名を連ねさせて頂く事になりました。社会に出ると、第一線で活躍される校友にお会いする機会も多く、我が母校立命の大きさを目の当たりにします。そんな素敵な立命館と校友会のお手伝いができればと思います。(意気洋洋)

校友会・グループインフォメーション

※(職)は職場電話番号

校友会・グループ	日時	会場	問い合わせ先
清和会総会	10/4(土)17:30	ウエスティン都ホテル・円山音楽堂	立命館中・高事務室 075(645)1051
建設会総会・懇親会	10/11(土)17:15	京都タワーホテル	理工学部環境都市系事務室内 077(561)2666
兵庫県校友会総会	10/18(土)11:00	加古川プラザホテル	寺田 豊 (職)06(6429)9906
福井県校友会総会	10/18(土)16:00	ウェルシティ福井	古村 隆一 0776(98)4671
数物会総会	10/18(土)10:30	BKCCローム記念館	理工学部数学物理学系事務室 FAX077(561)2657
埼玉県校友会総会	10/19(日)12:30	越谷コミュニティセンター	常田 幸正 049(224)6535
ちば校友の集い	10/19(日)15:00	船橋グランドホテル	辻 信雄 043(496)6557
兵庫県淡路支部校友会総会	10/19(日)11:30	サンライズ淡路	高田 貴代志 0799(84)1826
神奈川を歩く会	10/26(日)10:00	(集合場所)京浜急行(金沢八景)駅改札口	田辺 尚矩 045(303)0322
高槻・島本校友会総会	10/26(日)17:00	たかつき京都ホテル	大倉 珠雄 (職)072(675)5151
オール立命館校友大会2008	11/1(土)11:00	ホテルグランヴィア京都	校友会事務局 075(813)8216
長崎県校友会総会	11/8(土)16:40	ホテルニュータンダ	山口 孝司 (職)095(825)3795
応用人間科学研究科校友会総会	11/9(日)10:30	衣笠キャンパス 敬学館	応用人間科学研究科校友会 対人援助フォーラム2008事務局 FAX06(6910)6147
愛知県校友会イヤーズミーティング	11/15(土)17:20	名鉄グランドホテル	加藤 智大 (職)FAX052(937)1250
鹿児島県校友会総会	11/15(土)13:00	南日本新聞社・鹿児島サロイヤルホテル	西元 泰光 (職)099(253)1211
鳥取県西部校友会総会	11/21(金)18:30	米子全日空ホテル	大野木 昭夫 (職)0859(32)3308
福岡県校友会総会	11/21(金)18:00	ソラリア西鉄ホテル	清家 邦敏 (職)092(472)2621
宇部小野田地区校友会総会	11/22(土)18:00	ホテル河長	森島 正信 (職)0836(34)8613
国際関係学部校友会総会	11/22(土)15:00	衣笠キャンパス 諒友館食堂	国際関係学部事務室内 075(465)1211
マスコミ研究会OP会総会	11/22(土)13:00	五条歌舞練場	北園 了三 06(6730)4199
村上弘教授を囲む会	11/22(土)14:00	衣笠キャンパス 敬学館	武内 真一郎 (職)06(6282)5907
東京校友会総会	12/6(土)11:00	品川プリンスホテル	東京オフィス 03(5204)8611
陶芸部OB会	1/17(土)18:30	聖護院御殿荘	越渡 英雄 (携帯)090(2442)4009

校友消息(判明分)

就任

齊藤修氏(71法)
(株)京都新聞社 代表取締役社長
原田修氏(73法)
(株)京都新聞社 取締役

訃報

鈴木登氏(本学名誉教授)
6月28日逝去。72歳。
池田誠氏
(本学名誉教授・元副学長・元法学部長)
8月16日逝去。86歳。

褒章2007年秋分

□紫綬褒章
安田喜憲氏(70文)
国際日本文化研究センター教授

【お詫びと訂正】

りつめい No.233、門川大作京都市長へのインタビュー記事の冒頭に、門川氏が立命館大学院校友として初の政令指定都市市長であられると記述していますが、誤りでした。

校友の政令指定都市市長としては、元・神戸市長の宮崎辰雄氏(36法・故人)が、1969年から20年間その任にあられました。

ここに訂正し、深くお詫び申し上げます。

BOOKS

校友会へご惠贈下さいました本の中から紹介させていただいております。

◆三木義一氏(本学法科大学院教授)監修、山名隆男氏(68法・本学法科大学院教授)・市木雅之氏(97院法博前)著
『**税務/明解 相続税・贈与税**』
清文社*2400円+税

◆秋元カンナ氏(阿武喜久子・87文)著
『**夢を見 夢をみせ 夢に向かって生きる**』
文芸社*1200円+税

◆横田尚哉氏(87理工)著
『**ワンランク上の問題解決の技術(実践編) 視点を変える「ファンクショナル・アプローチ」のすすめ**』
ディスカヴァー・トゥエンティワン*1700円+税

◆西川哲也氏(93法)
『**ビジネス会計検定試験® 3級 重要ポイント&問題集**』

日本能率協会マネジメントセンター*1400円+税

◆花岡正樹氏(04国際)他著
『**ツッパな大学生のアナタへ〜大学生活を100倍エキサイティングにした12人のメッセージ〜**』
くろしお出版*1000円+税



りつめい No.234/2008年10月号

発行所/立命館大学校友会/年4回発行
発行人/山中 諄
編集人/中村 和歳
〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1
Tel. 075(813)8216
Fax. 075(813)8217
URL: http://www.ritsumei.ac.jp/mng/al/
E-mail: alumni@st.ritsumei.ac.jp